

令和元年度 学校経営計画及び自己評価

1 めざす学校像

「人間教育をする進学校」

建学の精神「報恩感謝」を柱とした宗教的情操教育の良き伝統を堅持し、男女を問わず、周囲に感謝して生きる喜びを感じ、何事に対しても前向きに取り組むことができる、そしてグローバル化する社会で活躍、貢献できる「品格と礼節」を備えた生徒を育成する。

- ① 建学の精神の涵養 一宗教的情操教育を堅持し、我国の伝統と文化に基づく「品格と礼節」を備えた人間を育成する学校一
- ② 安心安全な学校づくり 一学校は、生徒たちが安心して夢を実現するための準備をする安心安全な学校一
- ③ 確かな人間力の育成 一高い志を培うとともに生徒の進路希望を実現する学校一
- ④ さらなる特色づくり 一各コースの教育内容のさらなる充実を図り、生徒・保護者に期待される学校一

2 中期的目標

- 1 建学の精神の涵養 一宗教的情操教育を堅持し、我国の伝統と文化に基づく「品格と礼節」を備えた人間を育成する学校一
 - (1) 宗教行事や宗教の授業において、建学の精神を理解させる
 - (2) 日々の朝礼・終礼、講堂朝礼を徹底し、東大谷生としての自覚、感謝のこころを育む
 - (3) 花まつり、報恩講、了秀忌等の宗教行事だけでなく、すべての学校教育を通して建学の精神「報恩感謝」の念を育む
 - (4) 全教職員に対して本校の宗教的情操教育のあり方を常に確認・共有し、全教員一致して教育にあたる
- 2 安心安全な学校づくり 一学校は、生徒たちが安心して夢を実現するための準備をする安心安全な学校一
 - (1) 防災対策・危機管理体制を整え、生徒が常に考え行動できる指導を徹底する
 - (2) 伝統の生活指導を徹底し、グローバル化する社会に必要なマナーを身につけさせる
 - (3) 教育相談体制、メンタルサポート体制を充実させるとともに、生徒の個性に応じた身体と心の健康づくりを進め、安心・安全な学校づくりを推進する
 - (4) 家庭への情報発信を密に行い、学校・家庭が一体となった教育を徹底する
 - (5) 地域の幼・小・中学校、自治会等との連携をすすめ、地域とともに生徒の成長を育む教育を推進する
- 3 確かな人間力の育成 一高い志を培うとともに生徒の進路希望を実現する学校一
 - (1) 生徒が主体的に学ぶことができる授業改革を進め、高い志を育むとともに、「人間教育をする進学校」という評価を定着させる
 - (2) 本校独自の取り組みである「学びのNEW STYLE」の充実と教員の授業力の向上をはかる
 - (3) グローバル化が進む社会で活躍する人間の育成のために、授業におけるICT機器の活用を図り、国際理解教育を推進する
 - (4) 教職員の授業力の向上を最重要課題とし、公開授業、研究授業のほか時機を得た適切な研修を取り入れる
 - (5) 生徒会活動・学校行事や部活動を通して、仲間とともに創造する喜びと困難を乗り越える力、リーダーシップを育む
- 4 さらなる特色づくり 一各コースの教育内容のさらなる充実を図り、生徒・保護者に期待される学校一
 - (1) 大阪大谷大学との高大連携をすすめ高大一貫の教育をめざし、大学卒業までを見据えて生徒自らが意欲を持って学習できる体制を作る
 - (2) オーストラリア海外語学研修や短期長期留学制度を充実させ、積極的な国際交流を図る。豊かな語学力に裏付けられた国際感覚を育成できる体制を作る
 - (3) 外部受験において生徒が目標をかなえられるよう、教員が連携し一人ひとりの生徒にきめ細かい指導を行う体制を作る

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会における提言内容】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年12月実施分]	学校協議会における提言内容
<p>生徒保護者教員に共通して「自ら学ぶ習慣」の項目が低評価となった。生徒保護者については昨年度より改善しているものの学校として生徒が自ら学習に取り組めるよう、10年未来プロジェクトの充実を図り、やらされる勉強からの脱却を図ること、またスケジュール帳活用を励行し計画的な学習態度の育成に努める必要があり、次年度の第一の課題である。</p> <p>保護者からは多くの項目で昨年並みの評価を受けた。「建学の精神」「学校安全」「総合評価」では90%を超えたが、「学校行事」「部活動」「授業のわかりやすさ」で評価が下がった。</p> <p>生徒では「学校行事」「部活動」で評価が低下した。また現2年生について進路指導に関する満足度が低く、新入試制度に対する情報の錯そうが一因となっている可能性もある。</p> <p>総合評価としての設問16は保護者教員では前年度と同等であったが、生徒評価が下がった。生徒の印象は生徒募集にも大きく影響を与える。生徒に寄り添うきめ細やかな指導を教員全体で再度意識し直し、実践していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自ら学ぶ習慣」の評価が依然低い。東大谷には「探究ゼミ」など独自のアクティブラーニングを行う環境ができていて、この手法を各教科でどのように活かすかが次の課題である。 ・「学校行事」の評価の低下については、生徒の満足度を上げるために、単に楽しいだけでなく生徒が自主的主体的に活動できるような内容を検討したらどうか。 ・高大連携はメリットが多い。大学の内容を中学生にも示していけば今後良いアピールとなる。 ・「悩みへの対応」の項目では教員の評価に対して生徒保護者は低評価であり、教員の受け入れ態勢の充実にもかかわらず生徒が相談しにくい状況があるのではないかと。カウンセラーと相談して受け入れのマニュアルを作成してはどうか。 ・中学生やその保護者からは「落ち着いている・礼儀正しい・安心」などの評価が多く、宗教的情操教育がしっかりと認識されるようになってきた。ここに進路実績が伴えばさらに評価は高くなるので頑張ってほしい。 ・授業アンケートについては、実際の授業力を知る指標とするために「生徒への主旨の周知」「設問項目の検討」を行う必要がある。また、肯定的評価よりも否定的評価に注目し、その原因を各教員が分析し、アンケート結果が活かされるよう教員の意識改革も必要である。 ・学校評価アンケートの「学校行事」は楽しいか否かを、部活動については盛んか否かを問う設問なので、満足度や充実度を知るためには設問形式の吟味が必要。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神の涵養	(1)宗教的情操教育による豊かな人間性の涵養 (2)伝統の継承	(1) ①宗教担当教員と担任が密に協力して、朝・終礼、講堂朝礼指導を堅持し、宗教作法を身につけさせる ②宗教行事を通じて生徒に宗教的情操を身につけさせる ③生徒に宗教行事の運営に参画させる (2) ①4月に1年生の宿泊研修を実施し、東本願寺参拝を組み込み、東大谷高校のルーツを体得させる ②同窓会と連携し、文化祭等で本校の歴史を実感させる展示を行う	(1)①管理職による点検 長期休業後に提出される保護者意見 ②生徒感想文集「聞思」 ①②生徒評価(90%) 保護者評価(90%) 職員評価(100%) ③参画実績 (2)①生徒感想文 ②実施実績	(1) ①講堂朝礼は厳粛に行われている。教室の朝終礼は学年主任、管理職が適宜見回りを行い必要に応じて指導を行っている。生徒85.3%・保護者91.1%・教員91.0%(○) ②聞思より講師の講話により新たな気づきがあったことを多くの生徒が感じていることがわかる(○) ③日々の講堂朝礼には導唱伴奏を有志で行い宗教委員が運営当番に当たる。花まつりでは生徒会役員が祝辞を述べるなど昨年並みの参画実績が得られた。(○) (2)①生徒感想文に「宗教を通じて何を学ぶかが分かった」「東本願寺では厳粛な気持ちになった」などの記述が多い。(○) ②文化祭において「東大谷成美会100年」と題して展示を行い、多数の生徒保護者が来場し卒業生との交流を深めた。(○)
2 安心安全な学校づくり	(1)日常から安心安全に対する意識の向上 (2)自律的生活習慣の確立 (3)マナー指導、しつけ教育の徹底	(1) ①防災マニュアル・危機管理マニュアルを見直す中で全教職員で再認識し、防災危機管理意識をさらに高める ②保護者に学校情報を伝えるために、家庭との緊密な連絡体制を持続し、ホームページの充実を図る (2) ①安全に対する意識の向上を図るため、防災避難訓練や薬物乱用・SNS利用についての講演会の内容を充実させる。特に今後ICTを多用するために情報モラル教育の推進を図る ②メンタルサポート体制を強化 (3) ・登下校指導、服装指導等、社会でのマナーを身につけさせるために生活指導部を中心に全教職員で取り組む	(1)①教員評価(80%) ②保護者評価(90%) 長期休業後に提出される保護者意見 (2)①生徒評価(90%) 生徒感想文 ②生徒評価(90%) (3)生徒評価(95%)	(1) ①安全対策に対する教員評価80.6%、次年度はさらに備蓄の充実を図る。(○) ②ホームページやフェアキャストを利用して学校情報開示に努めたが保護者評価81.0%と目標値には至らず。次年度さらなる充実をめざす。(△) (2) ①生徒評価85.4%と目標には届かず、次年度は特に情報モラル遵守を徹底する。(△) ②カウンセラーと学年団で意思の疎通を欠く部分があった。次年度は情報交換を密にして生徒対応に当たる。生徒評価74.0%(×) (3) ・登下校指導を継続実施、また折に触れて講堂朝礼や終礼放送でマナーの徹底を促す。生徒評価93.6%と目標には届かないが良好(○)
3 確かな人間力の育成	(1)「学びのNEW STYLE」の推進 (2)主体的な学習態度の育成 (3)リーダーシップの育成	(1) ・2020年問題に向けて「10年未来プロジェクト」「探究ゼミナール」等本校独自のアクティブラーニングと、教科でのアクティブラーニングの充実を図り、学ぶことの楽しさを教え、学ぶ意欲を育む (2) ①学習支援システムを導入し、生徒の自主学習能力を高める ②進学希望生徒の増加に伴い、修学旅行等の学校行事の時期の見直しを行う (3) ①生徒会活動・部活動のさらなる活性化・効率化を図る ②部活動では地域の小中学校や住民との交流を通じてリーダーシップを育み競技に対する意識の改革をもたらす ③ボランティア活動を通じて社会に貢献する	(1)生徒評価80% 「探究ゼミナール」 プレゼンテーション生徒感想 (2)①生徒評価(80%) ②行事予定案 (3)①部活動生徒評価(80%) 生徒会活動実績 ②活動実績 ③活動実績	(1) ・コロナの影響で「探究ゼミナール」プレゼンテーションは実施できず(△) (2) ①生徒評価61%と目標に至らず。スケジュール帳の活用により意識向上を図る。(×) ②合唱コンクールを3学期から2学期に移して実施。来年度は1年生のみの実施も検討中。(○) (3) ①部活動評価69.8% 生徒会活動は文化祭を中心に活発に行われた(△) ②三原台中学校インターンシップ受け入れ、複数のクラブが校区の夏祭り、文化祭等の様々なイベントに参加・出品し、地域住民との交流を深めた。(◎) ③学期に1度学校周辺の清掃活動を実施、また生徒有志16名が南区クリーンキャンペーンに参加した。文化祭においては震災復興支援販売に6名の生徒が協力した。(○)

4 さらなる特色づくり	(1)大谷学園の強みを活かした教育力向上 (2)各コースでの特色をさらに充実させ生徒募集に繋げる	(1) ・大阪大谷大学との教員交流を推進し高大連携を強化し、本校教員の教育力向上を図る (2) ①進学コースでは、新たに高大一貫教育システムとして薬剤師育成・教員育成プログラムを策定する ②国際コースでは、長期・短期留学制度を充実させるとともに、帰国生徒に8限授業(英語村)を実施し4技能の向上を図る ③特進コースでは、綿密な3年間の指導計画を構築し、国公立20名、関関同立50名の進路希望を実現する ④入試説明会等において生徒の声を伝えることでより多くの情報を受験生保護者に発信する	(1)管理職による点検 (2)①策定進捗状況 ②留学生数25名 英検2級以上取得7割 ③合格実績 ④入試説明会アンケート 中学校や塾からの意見 志願者数800名 入学者数300名	(1) ・高大連携プログラムの検討、実施を通じて大学教員との交流が深まり相互理解が進んだ。(○) (2) ①薬剤師は1年生21名、2年生16名がプログラムに参加。教員養成は2020年度実施を見送る。(△) ②NZ留学生数は1ヶ月4名、3ヶ月24名と目標を上回った。また英検は3年生で準1級5名、2級25名で7割には届かず。(○) ③国公立12名、関関同立38名。次年度さらなる飛躍を目指す。(△) ④中学校・塾・受験生に東大谷が難化するとの風評が広がり他校の動向とも相まって受験生を減らした。また併願者の戻り率も例年より低く入学者も減少。志願者670名入学者228名(×)
----------------	---	--	---	--

令和元年度学校評価アンケート(まとめ)

	設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	No.	設問概要
生徒	1年生	83.0%	88.1%	81.2%	67.8%	83.6%	72.2%	73.1%	68.1%	71.6%	61.2%	92.2%	90.1%	71.3%	42.7%	70.7%	64.8%	1	建学の精神に基づく教育
	①	37.0%	50.4%	38.2%	36.7%	33.1%	24.8%	24.5%	19.1%	21.2%	19.1%	52.8%	46.0%	28.7%	15.5%	26.3%	22.1%	2	情報公開の適切さ
	②	46.0%	37.6%	43.0%	31.0%	50.4%	47.5%	48.7%	49.0%	50.4%	42.1%	39.4%	44.2%	42.7%	27.2%	44.5%	42.7%	3	危機管理と安全対策
	③	11.9%	9.0%	16.4%	22.1%	12.8%	23.0%	21.5%	21.2%	22.4%	29.3%	5.1%	5.4%	20.0%	31.0%	20.6%	23.3%	4	夢や目標の存在
	④	4.2%	3.0%	2.1%	9.6%	2.7%	4.5%	5.1%	10.4%	6.0%	9.3%	2.1%	4.2%	8.7%	26.0%	8.7%	11.9%	5	進路希望に応じた科目選択
	2年生	88.1%	88.1%	86.6%	72.9%	79.5%	75.9%	76.5%	67.9%	70.2%	56.3%	94.9%	94.3%	72.6%	43.5%	64.3%	67.6%	6	きめ細やかな進路指導
	①	36.9%	52.7%	35.1%	41.4%	37.8%	27.4%	28.6%	15.5%	19.9%	18.8%	51.5%	51.5%	26.5%	11.6%	24.1%	24.4%	7	進路情報の提供
	②	51.2%	35.4%	51.5%	31.5%	41.7%	48.5%	47.9%	52.4%	50.3%	37.5%	43.5%	42.9%	46.1%	31.8%	40.2%	43.2%	8	授業のわかりやすさ
	③	8.6%	10.4%	11.3%	19.9%	17.3%	19.9%	17.9%	26.8%	25.9%	33.6%	3.9%	4.2%	19.3%	28.9%	26.2%	19.9%	9	教員の授業への工夫
	④	3.0%	1.5%	2.1%	7.1%	3.0%	4.2%	5.1%	5.1%	3.9%	9.8%	1.2%	1.5%	8.0%	27.4%	9.2%	12.5%	10	自ら学ぶ習慣
	3年生	84.9%	88.8%	88.5%	85.9%	84.5%	78.3%	80.3%	78.0%	79.3%	65.5%	93.8%	91.8%	78.6%	54.6%	74.3%	82.6%	11	基本的な生活習慣
	①	37.2%	60.2%	41.1%	50.7%	48.0%	30.9%	34.9%	19.1%	21.7%	25.7%	50.7%	52.3%	29.3%	16.4%	30.9%	33.6%	12	好ましい人間関係
②	47.7%	28.6%	47.4%	35.2%	36.5%	47.4%	45.4%	58.9%	57.6%	39.8%	43.1%	39.5%	49.3%	38.2%	43.4%	49.0%	13	生徒の悩みや問題への対応	
③	9.9%	8.9%	8.6%	9.9%	9.9%	16.1%	14.5%	16.1%	16.8%	23.7%	4.6%	5.9%	15.8%	26.3%	17.4%	9.5%	14	学校行事について	
④	3.9%	2.3%	2.6%	3.9%	5.6%	5.6%	4.9%	5.9%	3.9%	10.2%	1.3%	2.0%	5.3%	18.8%	8.2%	7.9%	15	部活動の活発さ	
保護者	1年生	93.8%	83.4%	91.3%	64.7%	82.6%	71.0%	66.8%	63.9%	0.0%	50.2%	81.3%	88.8%	73.4%	68.0%	66.8%	87.1%	16	全体的な学校満足度
	①	49.0%	23.7%	34.9%	30.7%	26.6%	15.8%	15.8%	10.0%		14.1%	30.7%	37.3%	19.5%	19.5%	23.2%	41.5%		
	②	44.8%	59.8%	56.4%	34.0%	56.0%	55.2%	51.0%	53.9%		36.1%	50.6%	51.5%	53.9%	48.5%	43.6%	45.6%		
	③	4.1%	14.1%	6.6%	28.6%	13.3%	22.0%	26.1%	30.3%		36.5%	13.7%	7.5%	19.5%	23.7%	24.9%	8.3%		
	④	0.8%	1.2%	1.2%	6.2%	2.9%	5.8%	5.0%	4.1%		12.9%	3.3%	2.9%	5.0%	6.6%	6.6%	3.7%		
	2年生	91.3%	74.0%	88.4%	70.0%	83.8%	66.4%	65.7%	61.7%	0.0%	55.2%	80.5%	86.6%	69.3%	62.8%	62.1%	89.5%		
	①	43.7%	28.5%	39.4%	39.0%	30.0%	18.4%	15.5%	10.5%		17.7%	27.8%	32.9%	18.8%	17.3%	18.4%	42.6%		
	②	47.7%	45.5%	49.1%	31.0%	53.8%	48.0%	50.2%	51.3%		37.5%	52.7%	53.8%	50.5%	45.5%	43.7%	46.9%		
	③	7.6%	23.1%	9.4%	24.2%	12.3%	27.8%	28.9%	30.7%		30.7%	16.2%	10.5%	24.9%	29.2%	31.8%	8.3%		
	④	0.4%	2.2%	0.7%	5.8%	4.0%	4.3%	4.7%	6.1%		14.1%	2.2%	2.5%	4.3%	7.6%	5.4%	2.2%		
	3年生	88.5%	86.4%	90.1%	86.4%	78.2%	70.0%	72.0%	70.0%	0.0%	54.3%	85.2%	90.1%	72.4%	63.4%	69.5%	89.3%		
	①	41.2%	24.7%	38.7%	49.8%	40.3%	30.0%	25.9%	12.8%		23.0%	32.5%	36.2%	24.3%	22.2%	19.3%	51.4%		
②	47.3%	61.7%	51.4%	36.6%	37.9%	39.9%	46.1%	57.2%		31.3%	52.7%	53.9%	48.1%	41.2%	50.2%	37.9%			
③	9.1%	11.5%	7.4%	11.9%	16.0%	22.6%	23.9%	25.1%		33.7%	11.5%	7.8%	20.2%	28.8%	23.9%	7.4%			
④	1.2%	2.1%	1.6%	1.6%	4.5%	7.0%	3.7%	4.5%		11.5%	3.3%	2.1%	6.2%	7.8%	5.3%	2.9%			
教員		91.0%	74.6%	80.6%	0.0%	74.6%	74.6%	83.6%	0.0%	88.1%	56.7%	88.1%	97.0%	89.6%	73.1%	80.6%	88.1%		
	①	58.2%	28.4%	32.8%		23.9%	25.4%	35.8%		29.9%	7.5%	37.3%	23.9%	40.3%	26.9%	26.9%	17.9%		
	②	32.8%	46.3%	47.8%		50.7%	49.3%	47.8%		58.2%	49.3%	50.7%	73.1%	49.3%	46.3%	53.7%	70.1%		
	③	9.0%	22.4%	17.9%		22.4%	22.4%	16.4%		11.9%	41.8%	9.0%	3.0%	7.5%	22.4%	14.9%	11.9%		
④	0.0%	3.0%	1.5%		3.0%	3.0%	0.0%		0.0%	1.5%	3.0%	0.0%	3.0%	4.5%	4.5%	0.0%			

- ① そう思う
- ② どちらかと言えばそう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ そう思わない

肯定的評価(①・②計)比較

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
生徒	85.3%	88.3%	85.4%	75.5%	82.5%	75.5%	76.6%	71.3%	73.7%	61.0%	93.6%	92.1%	74.2%	46.9%	69.8%	71.6%
保護者	91.2%	81.3%	90.0%	73.7%	81.5%	69.1%	68.2%	65.2%		53.3%	82.3%	88.5%	71.7%	64.7%	66.1%	88.7%
教員	91.0%	74.6%	80.6%		74.6%	74.6%	83.6%		88.1%	56.7%	88.1%	97.0%	89.6%	73.1%	80.6%	88.1%